

石音

発行 石狩管内教育研究協議会
音楽部会事務局

文責 北広島市立双葉小学校

松本 亮子

令和3年 2月 発行

【コロナ禍における音楽の授業】～2020年をふり返って～

「うちで踊ろう」

うちで 歌おう

悲しみの 向こう

すべての歌で 手を繋ごう

生きて また会おう

僕ら それぞれの場所で

重なり合えそうだ

コロナウイルスのニュースが絶えることのなかったこの1年。2020年流行語大賞に選ばれた言葉も、年間大賞の“密”をはじめ、“アベノマスク”“アマビエ”“オンライン〇〇”“GO TO”などと、関連ワードが多数を占めました。そして、2020年でなければ生まれ得なかった楽曲もたくさんありました。

左にある歌詞は、YouTubeでも話題になり、紅白歌合戦でも歌われた星野源さんの歌です。会いたい人に会えない、楽しく会話をしたり一緒に歌ったり出来ない中で生まれた歌です。そばにいないくても、離れていても、それぞれの場所で歌うことで、心を一つにできることを音楽がしめしてくれたような気がしています。

さて、今年度は新学習指導要領が完全実施となり、音楽科においても3観点での評価となりました。短くまとめると、『進んで音楽に関わり、表現の喜びを味わい、さまざまな音楽を味わって聴くこと』です。歌を上手に歌い、楽器を上手に演奏できる子供を育てるのではなく、未来の【生きる力】につなげるための音楽の授業を進めていくことが必要となりました。音楽科は技能教科であると思い込んで、演奏技能を高めることを主眼においてきた考え方の大きな転換が必要であることを突きつけられました。

この1年間をふり返ってみると、【新学習指導要領】と【コロナ禍における音楽の授業】が“密”につながっていることに気がつきました。大人になってリコーダーを楽しんでいる人を見かけることがあまりない子供達にとって、「リコーダーの学習が将来何の役に立つのか？」と疑問を持つ子供は多いかもしれません。しかし、「美しい音色を生み出す力」「みんなと同時に初めて同時に終わることのできる力」「バランスをとって音色や音量を判断していく力」「音楽を形づくっている要素や音楽の仕組みを自ら操作する力」など、様々な力を身につけていくことは、将来の人生の中で大切になってくるのです。これらの資質・能力は、将来リコーダーをやらなくても人生のいろいろなところで役立つはずで、『美しい音色に気づき、みんなとバランスをとって、音楽を形づくる要素を感じる』ことは、とても価値のあることであり、その価値を子供自身が見いだせるような音楽の授業がこれから求められてくるのではないのでしょうか。この規制の多い不自由な期間【コロナ禍の音楽の授業】が、音楽教育の明るい未来につながっていく貴重な期間になることを願っています。

こんなコロナ禍にあったからこそ、実現することのできたこともありました。[オンライン研修]です。筑波大学附属小学校の高倉先生を講師にお招きし、ZOOMを通してオンライン研修を行えたことは、音楽部会だけでなく、石教研全体にとっても大きな一歩となりました。

これからも、コロナ収束を願いながら、部会員全員で知恵と工夫を出し合い、研究テーマに向かってよりよい音楽の授業をつくっていかれたらと思っています。

石教研音楽部会 部長 小原 砂織

各市町村推進委員挨拶

<千歳>千歳市立勇舞中学校 梅田 真由美

コロナ禍で十分な活動ができない中でしたが、ご協力いただきましてありがとうございました。

<恵庭>恵庭市立恵庭小学校 牛渡 聖子

コロナ禍で、会議の持ち方、音楽授業や研修の進め方など、試行錯誤しながらの1年間でしたが、新たな発見もあり、大変勉強になりました。部会員の激減で危機感を感じていますが、今後もさらに前進できるよう協力していきたいと思います。1年間ありがとうございました。

<北広島>北広島市立大曲中学校 渡辺 裕子

1年間ありがとうございました。何もしないまま任期をおえることを申し訳なく思っています。早くコロナが収束し、どの学校でもたくさんの笑顔と歌声あふれる日常になることを願っています。

<江別>江別市立江別第二小学校 小笠原 晴美

例年とは異なる部会体制で、江教研の先生方にはたくさんご迷惑をおかけしました。1年間、ありがとうございました。

<石狩>石狩市立花川小学校 寺元 麻美

今年度は今まで当たり前のようにできていたことができず、音楽教育の難しさや大切さを感じました。部会員の皆様には、ご理解・ご協力をいただき一年を終えることができました。ありがとうございました。

<当別・新篠津>当別町立西当別小学校 弥勒院 瑞枝

少人数の当新部会でしたが、様々な活動が難しい中、それでもできることを考え、実践交流など活動をおこなうことができました。1年間ありがとうございました。



役員挨拶

<部長>江別市立江別太小学校 小原 砂織

コロナの影響により、計画通りの研究を進めることができなかったことは、とても残念でしたが、部会員の皆さんが制限された中での音楽の授業を工夫しながら、進めてきたことで新たな発見や進歩が見られた1年だったと思います。今年1年、皆様のご協力に感謝しています。ありがとうございました。

<副部長>当別町立西当別中学校 笹谷 直之

二年間、副部長を務めさせていただきました。様々な方のお力を借りながらなんとか責任を果たせたのではないかと思います。ありがとうございました。

<事務局長>北広島市立双葉小学校 松本 亮子

今年1年間は、コロナの影響で色々な制限があり、新しい研究の1年目だったはずが、見通しのないままコロナ対応の活動となってしまいました。経験したことがない中での活動でしたが、初めての試みでZOOM研修を実施することができたことがよかったです。また、今回で任期を終えます。皆様には感謝申し上げます。ありがとうございました。

<事務局次長>千歳市立千歳第二小学校 島田 洋輔

今年度、事務局次長を務めさせて頂きました。初めてのことばかりでしたが、みなさんに支えられ、1年を無事に終えることができました。今年度は新型コロナウイルス感染予防対策のため、例年通りの活動が制限される中でしたが、できる限り可能な活動をやってこれたのは部会員の皆様のご協力があったからだと思います。本当にありがとうございました。

<小学校研究員>北広島市立緑ヶ丘小学校 高田 紅花

二年間、研究員として、役員の皆様と共に改めて音楽教育について深く考え、今の状況に合った研究を深めることができ、感謝の気持ちでいっぱいです。これまでのような授業ができなくなった中でも、創意工夫してできたことを話し合い、指導に役立てることができました。レポート作成など様々な場面でご協力頂きましてありがとうございました。

<中学校研究員>石狩市立樽川中学校 中野 いづみ

役員になったのは初めてのことで、わからないこと、できないことばかりでしたが、他の役員の先生方にお世話になり、なんとか一年務めることができました。来年度は、今年度学んだことを生かし、少しでも皆様のお役に立てるよう頑張りたいと思います。制限の多い中、音楽の活動をしていくことは大変ですが、知恵を出し合い、子どもたちの笑顔のために頑張りたいです。一年間ありがとうございました。



<小学校教育課程委員（代表）>江別市立豊幌小学校 高橋 恵

二年間、小学校の教育課程委員として活動し、多くを学ぶことができました。昨年は、教育課程展開編の作成、今年はコロナ禍での活動と、例年とはかなり異なり、忘れられない二年になりそうです。二年間ありがとうございました。

<中学校教育課程委員（代表）>北広島市立東部中学校 小野寺 紗耶子

中学校は、教育課程編成の年となり、責任を感じながら作業を進めさせていただきました。活用していただけましたら幸いです。

また、役員会を通して大変勉強させていただきました。ありがとうございました。

